



フランス便り

～2019年5月～



【はじめに】

Bonjour! ストラスブールに留学中の飯塚です。5月は晴れの日が多く、30℃を超える日も出てきました。日本と違い湿気が少ないので常にカラッとしていますが、日差しは強いです。また、小麦色の肌を好む人が多く、みんな日焼けのことなど気にせず積極的に露出の多い服装をしています。私は友達とよくメイクや美の価値観について話しますが、国によって違いがありとても面白いです。フランスに住んで感じたのは、若者より年配の人がオシャレだなということです。若い人はジーンズにパーカーやTシャツ、スニーカーなどシンプルな服の人が多のですが、年配の人は柄のタイツやミニスカート、革ジャンやヒールなどを上手く組み合わせています。またカラフルな色の服を着たり、アクセサリやカバンもオシャレなものを身に付けていたりとファッションを楽しんでいるのがよくわかります。フランスに来た際はぜひ服にも注目してみてください。



晴れ日のストラスブールです!
橋にはお花が飾ってあり、
ちょうど遊覧船が通っています。
お気に入りの一枚です!

【La Fête du Travail】

La Fête du Travail というのは5月1日のメーデーの日のことでフランスでは労働者の祝日になっています。この日はいつも動いているトラムやバスも運休します。そしてたくさんストライキが行われます。私は事前に語学学校の先生から「明日はストライキをする日よ。」と言われていたので外出を控えていました。当日は寮の前の道を通るストライキの集団を数団体窓から見る事が出来ました。旗や横断幕を掲げながら歩く人、大声で何かを訴える人、子どもと一緒に参加している人も見かけました。また、音楽を流しながら歩く団体もあり、その音楽もポップな感じからアラビア系など団体によっていろいろでした。中にはトラックの上で生演奏をしている団体もあり、なんだかパレードのようでした。



トラックの上で
生演奏しています(笑)



旗を持って行進する人々

ちなみに、フランスではこの日ずらんを大切な人や世話になっている人に贈る習慣があります。ずらんとプレゼントされた人には幸せがやってくるそうです。メーデー前日の花屋さんにもたくさんずらんが並んでいました。またこの日は誰でも路上ですずらんを売ることが出来る特別な日だそうです。私は部屋にいたので見ていませんが、クラスメイトの話では街のいろいろなところでずらんが売られていたようです。

【日本の祝日とフランスの祝日】

フランスに来て思うのは日本は祝日が多いなということです。日本は6月を除いて毎月何かしらの祝日がありますが、フランスは2月3月9月10月には祝日がありません。またキリスト教の国なので休日の内容はキリスト教関係のものが多いです。今年日本のGWは10連休で盛り上がっていましたが、フランスの5月にも3回祝日がありました。(5月は1年の中で祝日が一番多い月です。)5月1日のメーデー、5月8日のヨーロッパ戦勝記念日(1945年5月8日)、5月30日のキリストの昇天祭(4月の復活祭から40日後の木曜日)です。フランスには振替制度(日曜日が祝日だった場合、次の日の月曜日が祝日になる)がありませんが、その代わりに火曜日が祝日の時は月曜日、木曜日が祝日の時は金曜日が休みになり4連休になります!しかし、日本と違い日曜日や祝日はほとんどの店が閉まるのでたいていは家でゆっくり過ごしています。

【ストラスブールの治安】

私はフランスに来てすぐのころ無意識に日本で生活していた時と同じ行動をとってしまっており、よくスマートフォンをカバン

の側面のポケットに入れていました。また、リュックのチャックを開けたまま歩いてきたこともありましたが、その度に近くの人から「ポケットに携帯を入れてたら危ないよ!」「リュックが開いてるよ!泥棒がいるから気を付けて。」などすぐに教えてくれました。私は普段カバンの2個持ち(ショルダーバッグとリュック)をしていて携帯や財布、鍵などの貴重品は必ず前のショルダーバッグにいれ、チャックの部分は掴んでいます。後ろのリュックには教科書やノートしか入っていないせい何か何も取られずに済みました。フランス人をみているとここまで厳重にしている人はあまり見かけませんが、やはり泥棒は多いようで、リュックの外側のポケット(チャック付き)に財布を入れていた友達は盗まれかけたり、先日実際にイラン人の友達がリュックの中から銀行のカードを取られ約13万を引き落とされかけたいです。(翌日、その友達のリュックのチャックには南京錠がついていました。)もともとストラスブールはフランスの中でも治安が良い方だと聞いており、実際に住んでみても治安の良さを感じていました。そんな中12月はストラスブール、先月はリヨンでもテロがあり、どこでもテロが起こりうる国なのだと感じました。

また、フランスに来て驚いたのはホームレスの多さです。駅や観光場所、タバコ屋さん、スーパーの前には大抵ホームレスがいます。フランスのホームレスは積極的にいろんな人に声をかけています。その他にもずっと土下座をしてお金を集めている人、楽器の演奏や歌を歌ってお金を集めている人もいます。また驚いたのは路上にいるホームレスの半分くらいは犬を連れていることです。それも大型犬(シェパードやラブラドルレトリバー、ゴールデンレトリバーなど)とよく一緒にいることが多いです。理由はよくわかりませんが、冬は毛布のかわりにして暖を取っているように見えました。フランス人はホームレスに比較的やさしく、たくさんの方がお金や食べ物をホームレスの人にあげています。中には犬にドックフードをあげている人もいます。また、フランスにはホームレスを支援する団体もたくさんあるようで授業で Les restos du cœur (心のレストラン) という団体の話を聞きました。(この団体は貧しい人に無料で食事を配る活動をしており、年に1度有名な歌手を呼びチャリティーコンサートを開いたりしているようです。)私もホームレスに何度も話しかけられたことがあります。大抵は無視をしていけば諦めてくれますが、それでも来るようなら「フランス語も英語もわかりません。」と言っています。たまに舌打ちされることもありますが、日常茶飯事なので特に気にしていません。

【自動販売機】



オレンジジュースの自動販売機。
ガラス張りなので見ていて面白いです!

外国には自動販売機がないと思っていましたが、フランスにも自動販売機はあります。しかし、建物の中やお店の前にしかなく日本のように道端においてあるものは見たことがありません。売っているものは日本のものとあまり変わらず、飲み物やお菓子などです。またフランスではオレンジジュースの自動販売機をよく見かけます。果物のオレンジが自動販売機の中に入っていてお金を入れるとオレンジが転がっていきその場で絞られます。そのため新鮮な搾りたてのオレンジジュースを飲むことが出来ます。スーパーの野菜・果物コーナーにも同じようなオレンジジュース製造機がよく置いてあります。

日本の自動販売機と違うところはお札が使えないことです。近くに両替機もなく小銭を持っていないと買えないためかなり不便です。トラムの切符を自動販売機で買う時も小銭かカード払いです。海外ではカード払いが基本と聞いていましたが、実際にそのとおりでほとんどの人がカードを使って買い物をしています。

【おわりに】

ストラスブールも暑くなり、街のいたるところで夏の雰囲気が出てきました。止まっていた噴水が動き始めたり、秋冬に出ていた栗の屋台はアイスクリームの屋台に変わりました。先日友達とアイスクリームを食べに行った時、なんとスマイル味のアイスクリームを見つけました!日本ではあまり花の味のアイスは見かけませんが、フランスでは定番のようです。気になったのでスマイル味のアイスを食べてみました。初めての味でしたが、普通に美味しかったです。また、ほとんどのケーキ屋さんがお店の前でアイスクリームを売っているの、街のいたるところでアイスクリームを買うことが出来ます。(シングルは2€ぐらいです。)今年の夏はいろんなお店のアイスの食べ比べをして楽しみたいと思っています(笑)それではまた!

アイスクリームのフレーバー
紫色のアイスがスマイル味です

